

平成24年 2月3日(金) 発行



高大附高だより

編集 高崎商科大学附属高等学校父母の会
〒370-0803 高崎市大橋町237-1 TEL (027) 322-2827



高崎商科大学附属高等学校

Winter Festival



第69号

2012・2

(写真提供) 森本純生校長

ご挨拶



父母の会会長
藤 縄 宗 一

新春を迎え、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

また、父母の会会員の皆様には昨年中、多大なるご協力とご支援をいただきました。誠にありがとうございました。平成二十三年度の事業もあと少しとなりましたが、会員の皆様には更なるご助力の程よろしくお願い申し上げます。

さて、一方では昨年我々保護者を取り巻く環境も一層厳しくなるほどの大震災が襲ってきました。度重なる地震、計画停電そして節電等々とそれぞれのご家庭を直撃したかと思えます。その中であつても、商大附高生は逞しく元気に勉強や部活動に励んでいたと伺っています。私は昨年五月に県の高校総体開会式を陸上競技場で観ました。我が校のバトン部とベッブアーツ部が開会式行進の先導を務

め、更には選手宣誓を空手部主将が行い、私は商大附高の生徒や選手達を大変誇らしく頼もしく思ったことを覚えています。

しかし、非常に残念ながら落胆する出来事もありました。我々には子ども達を正しい道に導く責任があります。私ごときが生意気を申し上げますが、ご家庭での教育を今一度見直し子どもの良いところを伸ばして行けるよう努力が更に必要ではないかと思っています。

さて、三年生は残りわずかな学生生活となりました。悲喜こもごもたくさんの思い出と共に商大附高を巣立っていきます。是非、夢のある未来を作っていたきたいと切に願います。二年生そして一年生には伝統を引き継ぎ、人に優しい思いやりの心を養っていただきたいと思えます。

私は会長として非力ではありませんが、副会長をはじめ本部役員の皆様に支えていただきながら残りの事業に全力を尽くす所存です。結びに、父母の会会員の皆様そして、生徒のために献身的に尽くして下さる教職員の皆様のご健康を心よりお祈り申し上げます。

御挨拶



理事長・校長
森 本 純 生

平成二十三年が終わり平成二十四年に入りました。父母の会の皆様には昨年も学校に對しましてお力添えをいただき感謝申し上げます。

昨年の大きな出来事はやはり未曾有の大惨事でありました。東日本大震災であり福島原発事故であります。津波による行方不明者を未だに三千四百数十人を残し、死者との総数は二万人に及びました。日本の国を挙げての復興対策もやつと仮設住宅ができ、避難所の生活からは解放されましたが、原発事故の放射能汚染により他県に於いての生活を強いられる人、再就職先の決まらない人が多く残されております。徐々にでありましても一つ一つ問題を確実に解決し、一日も早く元の生活に戻れるようになってほしいと願うばかりです。

昨年三月十一日地震が発生した時、私は高崎市内の新設専門学校の十階で設置完成審査の最中でした。ビルの揺れの激しさに本校の生徒の安全が心配ですぐに学校に電話をしました。冷静な判断と素早い行動により、幸い一人の怪人も出ずに避難することができ、全員が自宅に帰ることができました。

突然の自然災害と隣り合わせで生活をしている我々の防御策は、非常時に備えての避難訓練が大切なことであることを実感いたしましたと同時に施設面に於ける対策を急がなければと強く感じました。本校に於ける地震対策は、昨年度より校舎の強度診断調査をもとに校舎耐震化計画の立案を行い、平成二十四年度二十五年度で実施することを決定いたしました。耐震計画の概要は第一校舎（正面校舎）と第三校舎（右裏の校舎）の立て替えと他の校舎の耐震補強工事であります。計画を進める手順の基本は、教室も校庭も授業の妨げにならないよう、つまり仮設校舎を建てない方式で行おうとするものです。

最初に現在のテニスコートを移

本部署員挨拶

「今年をふり返って」

副会長 渡邊 徹

明けましておめでとございます。会員の皆様におかれましてはお健やかに新年をお迎えの事と存じます。

皆様のご協力の下、父母の会総会、学年学級懇談会から始まった本年度でしたが、早いものでもう年度末を迎える時期となつて参りました。私はこの一年幾つかの行事のごく一部にしか参加することが出来ませんでした。ですが校長先生や諸先生がたが子ども達のことを、しっかりと考えていてくれる事や、父母の皆様も熱心であることに感心させられておりました。

三学年の子ども達にとっては残り少ない貴重な月日となりました。充実した高校生活と成るよう目標に向かって、此処でもう一頑張りして欲しいものです。羽ばたいて行く時を楽しみに親としまして

もう一頑張りです。

会員の皆様にとりまして、今年こそは本年に平穏なよい年と成ります様に祈念申し上げます。

副会長 下川 強

謹んで、新年のお慶びを申し上げます。

平成二十三年度の行事もほぼ終わりに近づいて参りました。参加させて頂いた頂きました行事では、皆様と一緒に楽しい時間を過ごすことが出来ました。また、貴重なお話を伺うことも出来ました。

さて、昨年を振り返りますと、あの未曾有の大災害により、我々日本人は、今までの考え方や暮らしを、根本から立て直さなくてはならないと感じた一年ではなかったでしょうか。この災害から、子どもたちが何かを学び取り、何かを考え、それを未来へ繋げてくれること、そして、今を少しずつ変えることにより、子どもたちの未来が良い方向に向かって行くことを願ってやみません。

最後に、本年も皆様にとりまして幸多き年になりますようご祈念申し上げます。

副会長 今井敏博

新年明けましておめでとございます。会員の皆様におかれましては、新しい年を穏やかに迎えられることと存じます。新入生の皆さんは入学され一年が経とうとしておりますが、自分が思い描いていた学校生活が送れているでしょうか。新年を迎え今一度自分自身を振り返り、新たな目標を設定し残りの一年生の学校生活を充実したものにして下さい。昨年は東日本大震災に見舞われ多くの人が尊い命を失い、又多くの人が被災されましたが、地域の人達が一つになり復興に向けて元気に頑張っています。私を含め商大の生徒が今できる事は何かをしつかり考えて、人と人の絆を大切にして行動をしてほしいと思います。学校を取り巻く環境も決していいわけではありませんが、私達大人が若人のための環境を整え、より良い教育の場を提供していく事が、未来の担い手である皆さんに贈る最大のプレゼントであると確信しております。

結びに、今後の皆さんの活躍とすこやかな成長を願い又商大附の増々の発展を心よりお祈り申し上げます。



設することから始めますが、本年度すでに並楳グラウンドに新テニスコートが完成いたしました。次に平成二十四年度で旧テニスコートの跡地に第七校舎(仮称)と図書室・自習室を新築します。平成二十五年度には完成した新第七校舎に第一校舎の機能を仮に移し(一年間)、第一校舎の改築を行います。完成次第、第一校舎に機能を戻し、第七校舎を教室として使用します。他の校舎の耐震補強工事は新築・改築工事に並行して行っていく予定です。そして最後に第三校舎を解体して終了となります。

現在、私立学校の耐震工事関係の補助金は耐震補強工事が三分の一補助のみで、改築・新築には補助金はありません。私学の団体から国に対しての請願は行っておりませんが進展しない状態です。この耐震計画には多額の経費を必要としますが、生徒の安全を守る為、計画通り進めて参ります。皆様のご協力をお願い申し上げます。

書記 城田幸枝

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

娘の高校生活も終わりに近づき、私の父母の会本部役員三年間も、卒業の時を迎えようとしています。

娘が留学を経験し、自分の道を切り開いて頑張っている姿を見るにつけ、高校生活でのびのびとした環境にあつたからこそと、先生方、お友達など、周りの皆様から感謝しております。

クラスでも、部活動でも、いつも楽しそうに、学校が大好きなよう、側で見ていて羨ましくらいでした。

私自身も、役員の活動の中で、たくさんのお会いに恵まれ、勉強させていただき、楽しい時間を過ごしました。

最後になりましたが、今年度卒業生達の輝しい未来と、商大附高のますますの発展、そして日本中の皆様の幸せを、感謝と共に、心よりお祈り申し上げます。

書記 高瀬英雄

あけましておめでと〜ございま

す。会員の皆様におかれましては新しい年を穏やかに迎えられたことと存じます。

早いもので、息子の入学と同時に引き受けた本部役員も、もう二年が過ぎようとしています。

私自身、初めて役員というものをさせていたれているのですが、まるで自分も息子と一緒に高校生を送っているような感覚になることがあります。右も左もわからない私を、諸先生方や他の役員の皆様がご指導くださり、多くのことを勉強させていただいているからだと思っております。生徒だけでなく、その家族をも成長させてくれる素晴らしいこの学校との出逢いに感謝し、残りの一年間、少しはお役に立てるよう努めてまいります。ご存じます。

最後になりましたが、本年こそ皆様にとって、明るく幸せな年となりますよう、ご祈念申し上げます。

会計 田島とみ子

謹んで新春のお慶びを申し上げます。息子の入学と同時に本部役員をお引き受けして、あまり協力できないまま三年が過ぎようとし

ています。それでも参加させて頂いた行事では、子ども達の明るい笑顔に元気を貰いました。

先生方、役員の皆様には本当に感謝しております。

昨年三月十一日に起きた東日本大震災、テレビの映像はあまりにもショッキングなものでした。それでも人々の善意、ボランティア活動など沢山のみなさんに支えられて着実に復興しています。地元の方々の強い意志を感じます。

子ども達にとって厳しい時代は続きますが、それぞれの進路に強い心を持って巣立つてほしいと思います。商大附高の発展と皆様の健康をお祈り申し上げます。

会計 石綿綾子

新年明けましておめでと〜ございます。先生方や役員の皆様にお世話になりながら、役員として二年が経とうとしています。

今年度、参加させていただいた研修会では「笑いで健康を科学する」という演題の講演があり、笑うことにより免疫力が高まったりストレスを和らげるなど体に良い影響を与えることや「笑顔は相手に

新しい「テニスコート」が完成しました

第7校舎の新築計画に伴い、この程、並榎キャンパスに新たに2面のテニスコート（夜間照明付き）が完成しました。



安全と安心と信頼を与えるメッセージである」と、人の心と心を結ぶ大切なものであるという内容のお話でした。穏やかに、常に笑顔でいたいと日頃から思っています、険しい顔になつてしまつことも多々あります。普通であること、あたりまえの日常に感謝し皆様が心穏やかに、笑顔になれる一年となりますことをお祈り申し上げます。

三年生保護者より

旅立つ我が子へのメッセージ



卒業に向けて

高瀬 咲子

入学説明会での大澤先生の言葉に、公立受験の失敗で立ち直れずにいた私達親子が救われる思いがし、この先の高校生活に夢と希望の光が見えてきたことを昨日の事のように思い出します。

朝学に始まり、七時間目、放課後の図書室での学習。一日の半分を学校で過ごすことも少なくなりました。

二年生の夏には、海外研修に参加することになり、本人よりもこちらの方が不安で一杯でしたが、三週間後に一まわり成長した姿で帰国した娘を見た時には、参加させて本当に良かったと感じました。

大学進学にあたり、担任の内田先生をはじめ、先生方が親身になってアドバイスを下さり、第一志望の大学に無事合格することが出来ました。

あとわずかです卒業式を迎えます。

お世話になった先生方に感謝の気持ち忘れず、商大附高で学んだ三年間を糧に、自分の夢に向って真っ直ぐ進んで行ってほしいと願っています。

旅立つ我が子へ

山口 明美

月日が経つのは早く、高校生活も残り少なくなりましたね。入学式を迎えたのが、昨日の事のように思います。

一年生の時、知らない人ばかりのクラスへ入っていく時勇気が要りましたね。私は友達が出来ると不安な気持ちで待っていました。でもその不安はすぐになくなり安心しました。元気な声で「ただいま」と帰って来た時は嬉しく思ったものです。それからあなただけは、色々な学校行事に参加し、高校生活にも慣れ、楽しく過ごしていただきましたね。その姿はとても大きかったです。

四月からは、大学生になります。

大学生活でも色々な事があると思いますが、商大附高で学んだ三年間がこれからの人生に、大いに役に立ち自信になると思います。どんな時も勇気を持って前へ進んで行って下さい。応援しています。

最後に、ご指導下さいました諸先生方、三年間ありがとうございました。

旅立つ我が子へ

山口 裕子

月日の経つのは早いもので、期待を胸に入学した高校生活も終わろうとしています。

小学校一年生から続けてきた野球を高校でも最後までやり遂げる事が出来ました。日々の練習は辛く苦しい事ばかりでしたが、その練習に耐えてきた強い精神力は、これからの人生の自信となることでしょう。そして、これまで頑張ることが出来たのも、ご指導くださった方々や一緒に汗や涙を流した友、たくさんの人達との出会いがあった事に感謝して下さい。

人との出会いは人生の「財産」です。今まで出会った人、これから

ら出会う人、人との出会いを大切に、夢を必ず実現出来るよう歩んで欲しいと思います。あなた自身が選んで決めた進路です。精一杯の努力をして下さい。

卒業おめでとう。

我が娘へ

宇留間 哲也

春高バレー、インターハイバレーに出場したい希望から商大附高に入学し、本人の努力、先生からのご指導、他の部員たちの協力で念願の出場を果たすことができて、大変よかったです。

高校三年間、バレーボールに大半の時間を注いでいましたが、学校生活においては学級委員長を三年間まかされ、又、一生付き合っていく友人がたくさんできたようで、忙しい高校生活でしたがよくがんばったと思います。最近娘から、商大附高に入ってよかったという言葉を聞き、親としては、娘をそういった気持ちにさせていたのだと、先生方、友人に対して感謝の気持ちでいっぱいです。

大学は歯学部に進み、今までの努力が必要です。商大附高で

培われた何事も一生懸命にすることを忘れずに、さらなる精進を期待します。

娘へのメッセージ

高橋 淳子

早いもので、あつという間に三年が経ちました。たくさん素晴らしい先生方や、お友達と出逢い、いつも楽しそうでしたね。

また、同時に三ヶ所のオーケストラに参加し、何曲もの難しい課題を与えられ、本当に大変だったと思います。よく弱音も吐かずに頑張りましたね。

また、昨年は、東日本大震災が発生しました。震災後、三陸に演奏に行った際、子どもたちのたくさん笑顔と拍手に励まされながら演奏をして、逆に元気を貰って帰って来たこと、タイで大学生と演奏したこと、どれも、どれも、貴重な体験でした。体験一つ一つが、きっとあなたの人生に、大きな影響を与えたはず。励まし、支えて下さった方々に感謝しながら、胸を張って卒業して下さい。卒業おめでとう！

旅立つ我が子へ

塩澤 真由美

先生方には、子どもたちに親も及ばぬご指導をたまわりまして、ありがとうございました。三年前、希望と不安を抱いての入学式、早いものであつという間の高校生活でした。中学生から始めたテニスを迷わず選び、中学、高校を通してテニス部活動を頑張り最後までやり遂げたことは、立派だと思います。そして三年生最後の夏の試合では、県大会出場という結果を残せたことも、仲間と支え日々の努力だと確信出来たことでしょう。そんな高校生活の中でもっとも視野を広げられたアメリカシアトルでのホームステイの三週間でしたね。伝統ある行事アメリカのホームステイの参加です。高校生活の三年間とっても充実したものとになりましたね。大学生活へジャンプ頑張れ！

旅立つ我が子へ

池田 陽子

月日が経つのは早いもので、高校生活も終わろうとしています。

思えば、初めての電車通学で乗り換えは出来るが、新しい環境に馴染めるか、親として心配していました。でも、あなたはそんな心配をよそに、たくましく、しっかりと生きていく力が付いた三年間でした。

海外研修に参加した事も自分の自信につながったでしょう。

今、目標に向い新たな一歩を踏み出していく・・・これから、苦しく・辛い事もあると思います。でも、あなたの前向きな考え方で乗り越えて行けると信じています。今まで、お世話になった先生方や友人達に感謝の気持ちを忘れずに下さい。

これからも、あなたの事を応援していきます。

旅立つ我が子へ

川端 よしみ

三年間、良く頑張ったね。

勉強も良く努力したり、部活動三年間続けたことはすごい経験になったと思う。部活動で身につけた集中力や忍耐力、協調性は三年間で得た友達と同様、一生の財産になるでしょう。これから

その財産を宝物とし、自信として自分らしく自分の道を進んで下さい。今、卒業にあたり、はなむけの言葉を贈ります。

愚直な人生でいいと思う

しかし、愚劣は嫌いだ

炎熱に大樹が黙々と天空に聳ゆるあの愚直な姿勢を忘れまい

曖昧さと中途半端ということ自分の姿勢から取り除いて下さい。自分の約束を自分で果たして行き一生涯にわたる夢を実現するために。

卒業おめでとう。

最後になりましたが、お世話になりました。諸先生方、良き御指導誠にありがとうございました。

旅立つ我が子へ

田村 幸紀

春高バレーに出場する為に商大附高に入学したのが三年前のこと。部活の顧問、クラス担任と親以上に上和田先生と一緒に過ごし精神的にかなり成長して逞しくなりました。

バレーで沢山の仲間を支えて頂き親としても忙しく楽しい三年間を過ごさせて頂き感謝しています。

人生の中で一生の仲間となる部活の友、これからは別々のスタートラインに立ちますが一つのボールを追いかけていた気持ちを忘れないうで切磋琢磨して欲しいものです。

娘へ

三年間、商大バレーで鍛えた精神で無限大の可能性へ自分を信じ一歩一歩確実に進んで下さい。親として見守り続けるから。

「ありがとう」

旅立つ我が子へ

堀口美奈子

入学当時、「超、楽しい！」と言いながら毎日学校へ通う姿がつい昨日の事のように思い出されます。月日の経つのは早いものですね。大好きなバスケットにたくさんのすばらしい友人に囲まれ、さぞかし充実した日々を送ることができたのではないでしょう。そんなあなたを見て、あなたの母親になり、育てさせていただいたことに感謝いたします。これからも私はあなたをいつも気にかけて、心配し続けていきますよ。自分を見失うことなく自分の道をしつかり歩んで下さいね。その中で失敗することも

あります。人間関係で悩むこともあります。でも決して一人ではないということをお忘れしないで下さい。私の存在を思い出してほしいと思います。あなたにとって頼りがいのない私だったかもしれませんが、人生の先輩としてきつと力になれると思います。

あなたにとってのこれからの人生、見守っています。ガンバレ!!

旅立つ我が子へ

佐藤昌美

桜の花に迎えられる入学式。早くも友達と笑顔で会話し、高校生活に何もとまどいのない様子でスタートした三年前。

あれから三年間・・・卒業を迎える日が近づいていますね。

先生、友達に支えられて、辛い事も楽しい事も一緒に乗り越えてくれました。毎日が新鮮で充実した生活を送れたように思えます。部活に所属したものの、ケガに悩み、辛い練習も休むことなくやりとげた事は、あなたにとって貴重な経験を身につけられた日々となつた事でしょう。その前向きな姿勢に私のほうが励まされました。そ

進路指導部より

んなあなたの事だから、明るく前向きに自分の夢に向かって進んで行けるでしょう。その成長を見届けて行きたいです。

最後に、支えて下さった先生方に感謝申し上げます。そして我が子に出会った友達に、ありがとう。

【進学状況】

今年度の推薦・AO入試の結果を見ると十二月の時点で国立大学合格一〇名に達した。最終的に目標の二〇名を超えるのではないかと期待される。群馬大学に三名、筑波大学に一名推薦入試で合格している。小論文の過去問を何回も解き直して入試に臨み群馬大学合格した生徒や、二年の総合学習で言語学をテーマにして参考文献を四冊読み、論文にまとめた生徒が筑波大学に合格した。合格したどの生徒も努力の成果が結果に繋がっている。

社会は大きく変わり、これまでの年功序列、終身雇用の時代から、実力主義の時代になった。学校を

出ても常にも研鑽を積んでいなければ遅れてしまう時代となっている。重要なことは、進学する学校で何を身につけるのかという目的意識を強く持つことである。

自分がどんな職業に就き、どんな生活をしたのかという目指す職種を持つことから始まる。さらにその職種の求人現在はその程度であり、将来どのように変化するかという予測も必要となる。

働くという行為は、求められた要求に対して行動によって要求を満たすことである。要求を満たすためには、その仕事が求めている能力や技術を身につけていることが条件となる。職種によっては資格を持つことを条件としていることもある。仕事に対して前向きに取り組もうとする姿勢は特に重要であり、職種に対応した適性を持つていることも大切である。

これからの未来を生きていく高校生が学習すべき内容に対する認識をしっかりと持って努力して欲しい。

国立大学のセンター試験は五教科七科目の流れが定着し、広範な基礎学力を確認している。マークテストのセンターは、出題者の

平成23年度 父母の会学年懇談会 進学関係資料

- (1) 平成22年度 大学267名 (国公立12名) 合格
- 平成21年度 大学197名 (国公立10名) 合格
- 平成20年度 大学200名 (国公立 9名) 合格
- 平成19年度 大学218名 (国公立17名) 合格
- 平成18年度 大学194名 (国公立15名) 合格

(2) 在校生の進学希望調査 (平成23年 4月調査)

	1学年 在籍487			2学年 在籍416			3学年 在籍430			
	大学	短大	専門	大学	短大	専門	大学	短大	専門	
文系	文・外国語	20	1	3	17	1	2	37	3	0
	商・経	16	7	3	15	3	0	25	8	1
	法・社会	5	0	0	9	0	0	10	0	0
	体・教育	11	0	3	13	1	1	14	0	0
	福祉	4	2	5	5	4	3	4	0	0
	芸術	9	1	12	2	1	4	5	2	2
	家政	0	0	0	0	1	2	5	2	4
	保育	11	10	14	2	14	3	2	13	3
	心理	6	1	0	7	3	1	9	0	0
	美容	2	1	24	1	0	20	2	1	22
	医療事務	4	0	4	1	1	4	0	10	6
	その他	2	0	15	1	7	13	7	4	14
	未定	43	8	13	47	14	15	21	3	15
	理系	理学	8	0	1	5	0	0	6	0
工学		9	1	7	15	0	0	19	0	2
農学		0	0	0	0	0	0	1	0	0
医学・歯学		6	0	1	4	0	1	4	0	2
医療		0	1	3	4	0	3	9	0	4
看護		10	2	13	8	0	9	15	0	13
動物		6	0	5	0	0	7	0	0	6
その他		1	0	1	3	1	5	7	0	5
未定		18	2	7	11	0	1	2	0	3
未定		51	6	10	18	7	10	11	1	5
合計	242	43	144	188	58	104	215	47	107	

1年 進学429 就職58 2年 進学350 就職66 3年 進学369 就職61

(3) 入学試験 各大学短大専門学校の合否資料については進路資料を参照のこと

- A. 推薦入試 出願条件を満たした生徒が高校からの推薦を得て出願する
指定校推薦 (大学116校 短大47校 進路資料7月上旬配布の指定校一覧冊子)
大学等が指定した高校に基準や指定枠等を提示して募集する推薦
出願できれば合格の可能性は極めて高い
- 公募制推薦 条件を満たしていれば、どの高校の生徒も出願できる入試
一部人数制限のある大学あり 群馬大学教育学部各専攻各校1名等
- ※出席状況には十分留意し全科目について評定平均値を高める努力が必要
- B. 一般入試 各大学・学部により入試科目を設定して、合否を判定する。
入試得点が重視されるので、入試科目で高得点を取れる実力が必要
(大学入試センター試験) 国公立大学受験者は必修であるが、9割以上の私大が
センター試験利用入試を実施。4年制大学受験者はほぼ全員が受験してほしい。
国公立の試験科目は、5教科7科目に増加
科目構成例 文系(英1、国1、社2、数2、理1)等
理系(英1、国1、社1、数2、理2)等
“入試科目を意識した学習を”
- C. A.O入試 大学(短大)で何を学びたいかを大学側と相談し、受験生と大学側の
条件が一致した場合、出願し選考される。エントリーの早い学校も多い。

意図に沿って流れるように解答していくことが必要である。国公立大学二次試験や私立大学の一般入試では、基礎学力と共に分析力や論理性、応用力を見るために、それぞれの大学が特色のある入試問題を作成している。差の付く問題で手応えがあれば合格に近づく。学習活動を支える基本は、言語

教育にある。その教科は、国語・数学・英語という教科となる。教科書のほとんどは日本語で書いてある。国語は読むことの基本として最も重要である。本を読むこと、新聞を読むこと、様々な資料を読むことが、自発的に向上させることとは間違いない。数学は論理的思

考を育て、抽象化された概念を体系的に理解する能力を育む。数学がなければ、科学技術の進歩もなかったと言える。国際化の時代にあって、英語が使えることは、あたりまえのこととして要求される。英語における読み書きと共にコミュニケーション能力も重要視されている。大学の入試科目では国数英

の三教科が重要視されている。科学技術や社会現象の理解のためには理科や地歴・公民の教科がある。実学的な教科として情報や商業があり、家庭・体育・芸術という教科は、生活・健康や豊かな人間性を育む。

進路実現には入試科目の学習が重視される。しかし、バランスのとれた人格形成には総合的な学力が必要となる。すべての教科・科目に対して前向きに取り組み、さらに、入試科目で合格点を取る。高校三年間という限られた時間内で身につける必要のある内容がどれ程多いかを認識し、努力をしていただきたい。広い視野での学習が希望する進路を実現し、複雑な競争社会でも豊かな人生を約束するものと思われる。「努力は人を裏切らない」最大の努力をして欲しい。

▼主な合格大学

- 筑波大学 (1) 群馬大学 (3)
- 高崎経済大学 (3) 県立県民健康科学大学 (1) 前橋工科大学 (2) 青山学院大学 (1) 法政大学 (1) 日本大学 (2) 東洋大学 (5) 駒沢大学 (1) 専修

- 大学 (1) 京都女子大学 (1)
- 日本歯科大学 (1) 桜美林大学 (1)
- 大東文化大学 (1) 東海大学 (2) 聖徳大学 (1) 帝京大学 (4) 武蔵野美術大学 (1) 駒沢女子大学 (1) 亜細亜大学 (2) 拓殖大学 (2) 国士館大学 (2) 立正大学 (2) 杏林大学 (2) 順天堂大学 (1) 東京家政学院大学 (1) 東京女子体育大学 (1) 跡見学園女子大学 (1) 城西大学 (2) 日本体育大学 (1) 白百合女子大学 (1) 宝塚大学 (1) 大正大学 (1) 目白大学 (1) 上野学園大学 (1) 日本医療科学大学 (1) 城西国際大学 (2) 足利工業大学 (3) 千葉商科大学 (1) 尚美学園大学 (2) 西武文理大学 (1) 朝日大学 (1) 工学院大学 (2) 日本工業大学 (1) 東京電機大学 (1) 東京国際大学 (2) 山梨学院大学 (2) 埼玉工業大学 (3) 関東学園大学 (1) 上武大学 (3) 東京福祉大学 (8) 桐生大学 (1) 高崎健康福祉大学 (1) 共愛学園前橋国際大学 (3) 群馬医療福祉大学 (3) 高崎商科大学 (36)

▼主な合格短期大学

- 高崎商科大学短期大学部 (36)
 - 育英短期大学 (13) 新島学園短期大学 (9) 群馬医療福祉大学短期大学部 (1) 桐生短期大学 (4) 東京福祉大学短期大学部 (1) 武蔵丘短期大学 (2) 国際短期大学 (1) 埼玉女子短期大学 (3) 他
- (進路指導主事 牧口一男)

【就職状況】

東日本大震災の影響等による景気の先行き不透明感から、高校生を巡る就職環境は、昨年同様、全国的にとて厳しくなっている。

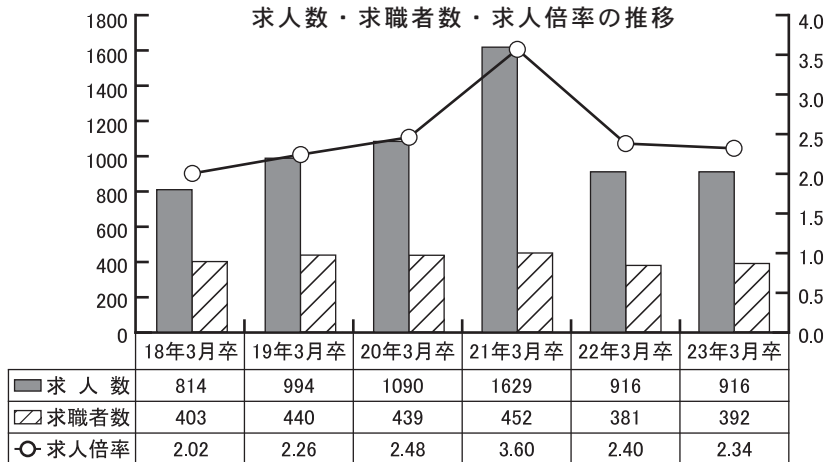
群馬県では十一月に高校生を対象にした企業面接会が開催され、多くの高校生が集まった。今年度(九月末現在)の群馬県の就職内定状況は、統計のある平成八年三月卒業以降、過去4番目の低水準であったが、本校においては、高崎公共職業安定所のご協力もあり、例年と余り変わらない数値になりそうである。この原稿を書いている現在も、求職活動をしている者がいる。なにはともあれ、就職希望者は早い段階から職業意識

を形成し、しつかり準備することが大切である。自分に合った職種をさがし、さらに具体的な会社を選び出すことは、決して簡単なことではない。しかも、それを、決められた時間内に決断しなければならぬのである。

群馬県では、高校生の就職の選考は一人一社制で、九月中旬から始まる。今年度も、この時期に応募した者が中心であった。十月の中旬以降は一人三社までの推薦・応募が可能となるが、そういう生徒が増えている。もちろん、どんな状況でも、生徒本人の希望がしっかりとしていないといけない。と同時に、受験準備を充分にする必要がある。本校では、模擬面接等を各科・コースの主任が担当している。そこでのアドバイスを是非生かしてほしい。

最後に、いつものことだが、少し付け加えておきたい。企業に採用されるためには、改めて、言葉づかいや身だしなみを注意してほしい。

求人数・求職者数・求人倍率の推移



また、企業が一番に求めている「コミュニケーション能力」も、決して特別なものではない。本校の校訓「親愛・礼節・整美」をぜひ実践してほしい。

(職業指導主事 愛敬浩一)

平成 23 年度 父母の会行事

月	日	曜日	事業内容
4	8	金	入学式(群馬音楽センター)
5	13	金	本部役員会
	21	土	平成23年度総会・本部役員引継ぎ会(暢神荘)
	31	火	県私立中学高等学校保護者会連合会総会(ラシーネ)
6	1	水	高崎地区PTA会長及び管理職歓迎迎会(高崎ビューホテル)
	10 11	金 土	県高P連総会(一泊:伊香保 ホテル「天坊」)
	26	日	3年学年学級懇談会・反省会
7	3	日	2年学年学級懇談会・反省会
	10	日	1年学年学級懇談会・反省会
8	19	金	後援会合同夏季懇親会(ヴィラ・デ・マリアーヂュ)
9	27	火	県中高保護者会連合会理事会・学校見学会(明和県央)
10	6	木	西毛地区高P連指導者研究集会(ニユーサンピア)
	27	木	全国私学教育研究集会(高崎市)
11	11	金	県高P連指導者研究集会(前橋テルサ)
	23	祝	後援会・同窓会合同研修旅行(忍野八海)
12	2	金	私学振興全国大会(日比谷公会堂)
1	13	金	後援会・同窓会役員合同新年会(ヴィラ・デ・マリアーヂュ)
	26	木	平成23年度群馬県私学団体新春交歓会(ラシーネ)
2	10	金	3年学年学級役員反省会(マリエール高崎)
	22	水	県中高保護者会連合会理事会・学校見学会(桐生第一)
3	1	木	第63回卒業式(群馬音楽センター)
	16	金	1・2年学年学級役員合同反省会(ヴィラデマリアーヂュ)

生徒指導部より

忘れもしない三月十一日午後二時四十六分過ぎ。

私たちがそれまでに経験した事のない、強く激しい揺れを感じました。六校時が始まって間もなくのことです。職員室でも机上や棚から書類が崩れ落ち、私たちはなす術もなく物にしがみつき、揺れが収まるのを待つしかありませんでした。生徒たちも教室や体育館、グラウンドでこの自然の脅威を感じていました。

全校放送による校庭への速やかな移動、声を掛け合いながらの安全確認、交通機能が麻痺している中での適切な帰宅など、生徒たちは緊急事態において混乱のない立派な行動をとってくれました。

幸いなことに本校の関係では大きな被害はありませんでしたが、東北地方では未曾有の震災となつてしまったのです。

昨年十二月、宮城県仙台市で空手道の大会があり、選手とともに訪れました。二十年以上続く大会ではありましたが、震災により開催が危ぶまれました。大会会場は

九月まで被災者の避難場所として使用されており、家を失われた方々が体育館のフロアで生活をしてきたそうです。そんな中でも宮城県を中心とする東北の先生、生徒たちが気持ちを一つに立ち上がり、開催に至りました。

大会には石巻、釜石、福島などからの参加もありました。ある学校では震災後、生徒の安否も、どここの避難場所に留まっているかわからず、一つ一つの避難所を先

生が巡回し確認作業に何日もかけて当たったそうです。また福島からの先生は原発の事故も重なり、

自分自身が「死」というものを真剣に考え、中には万が一の時に自分だと分かるよう身分証明できるものを常に身につけていたという先生もいました。

大会会場では、日本全国から集まる高校生たちに少しでも被災地の事を知ってもらおうと、ロビーや通路に多くの被災状況写真が展示されました。「絆」と書かれた大きな布に寄せ書きを求めるコーナーも設置されました。

東北では今まさに心のケアを含めた復興に向け頑張っているさなかです。あれからもうすぐ一年が経とうとしています。今の私たちに出来ることはなんでしょうか？それは、この現実を決して忘れないこと、私たちが一日一日を誠実に生きていくこと、ではないかと思っています。

本校では様々な問題もありましたが、無事に新年を迎えられました。三年生は新たなステージに向かい、二年生は最上級生として、一年生は後輩から先輩へととなります。それぞれが前向きに、誠実に思いやりの心を忘れず、成長していくことを願っています。

(生徒指導主事 安斉義宏)

平成22年度 決算について

学校法人 高崎商科大学

平成22年度決算につきまして、平成23年5月27日に開催されました理事会にて承認され、評議員会に報告されましたのでここに掲載致します。

現在本法人は、日本私立学校振興・共済事業団が示す「定量的な経営判断指標に基づく経営状態の区分(過去2カ年基準)」に照らし合わせた場合、昨年度に引き続き正常状態に位置しています。

今後共更にこの健全な経営状態を保つべく努力し続ける所存です。

尚、本法人では財務関係書類の閲覧及び交付による情報公開を行っており、各事業所内の所定の位置で閲覧が出来ます。

① 資金収支計算書

資金収支計算書は、当該会計年度の諸活動に対応するすべての収入及び支出の内容並びに当該会計年度における支払資金(現金及びいつでも引き出すことができる預貯金)の収入及び支出のてん末を明らかにするためのものです。

平成22年度の資金収支状況について、予算と比較すると寄附金収入、補助金収入、資産運用収入及び事業収入がそれぞれ増加したものの、学生生徒等納付金

収入、手数料収入等が減少したことで、収入合計は決算額が予算額を45,995千円下回ることとなりました。

一方、支出は人件費支出、教育研究経費支出、管理経費支出、施設関係支出及び設備関係支出等が減少したため、次期繰越支払資金は1億0,577万円増加し、21億1,285万円となりました。

資金収支計算書

(単位:円)

収入の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
学生生徒等納付金収入	1,553,591,170	1,547,430,080	6,161,090
手数料収入	54,030,740	53,935,030	95,710
寄附金収入	15,072,475	16,515,075	△ 1,442,600
補助金収入	521,924,803	549,611,953	△ 27,687,150
資産運用収入	20,100,000	20,293,748	△ 193,748
事業収入	10,750,000	11,548,627	△ 798,627
雑収入	8,510,000	8,511,799	△ 1,799
前受金収入	312,695,500	275,178,500	37,517,000
その他の収入	91,948,504	82,393,504	9,555,000
資金収入調整勘定	△ 278,405,500	△ 301,195,530	22,790,030
前年度繰越支払資金	1,894,354,868	1,894,354,868	
収入の部 合 計	4,204,572,560	4,158,577,654	45,994,906
支出の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
人件費支出	1,201,536,018	1,200,066,434	1,469,584
教育研究経費支出	435,394,953	401,677,397	33,717,556
管理経費支出	163,505,717	140,049,162	23,456,555
借入金等利息支出	5,674,582	5,674,582	0
借入金等返済支出	42,345,339	42,345,339	0
施設関係支出	80,335,125	73,105,705	7,229,420
設備関係支出	71,710,000	49,858,558	21,851,442
資産運用支出	105,680,000	105,680,000	0
その他の支出 (予備費)	43,998,690 50,351,351	40,354,164	3,644,526 50,351,351
資金支出調整勘定	△ 3,039,620	△ 13,083,106	10,043,486
次年度繰越支払資金	2,007,080,405	2,112,849,419	△ 105,769,014
支出の部 合 計	4,204,572,560	4,158,577,654	45,994,906

② 消費収支計算書

消費収支計算書は、当該会計年度の帰属収入（学校法人の負債とならない収入）から、基本金に組み入れる額を控除して算出した【消費収入】と、資金支出を伴う費用と資金の移動を伴わない費用（退職給与引当金、減価償却費、資産処分差額など）を集計した【消費支出】の差し引き結果を記載します。消費収入が消費支出を超えれば「消費収入超過」であり、消費支出が消費収入を超えれば「消費支出超過」となりますので、消費収入と消費支出の内容と均衡の状態を明らかにすることによって、学校法人の経営状況が把握出来ます。（企業会計の損益計算書に類似しておりますが、基本金組入額を控除する点が大きく異なります。）

平成22年度帰属収入合計は、予算21億9,071万円に対し、2,679万円増の22億1,750万円です。これから基本金組入額1億1,100万円を差し引いた本年度の

消費収入は、予算20億2,584万円に対し8,067万円増の21億0,651万円でした。

これに対して消費支出は、予算19億7,574万円に対し5,520万円減の19億2,054万円でした。

この結果、平成22年度の消費収支差額は1億8,597万円の収入超過となり、前年度繰越消費収入超過額7,746万円と基本金取崩額38万円を加えた翌年度繰越消費収入超過額は、2億6,381万円となりました。

尚、基本金の取崩しについては、学校法人会計基準の一部改正（平成17年5月13日付け文科省通知）により、経営の合理化、将来計画の見直しを行った場合にも、基本金の取崩しが出来ることとなり、この改正に則した会計処理を行った結果、法人、その他の機器備品の基本金組入対象額に比べ、取崩対象額が上回ったため、取崩し（38万円）を行いました。

消費収支計算書

(単位：円)

消費収入の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
学生生徒等納付金	1,553,591,170	1,547,430,080	6,161,090
手数料	54,030,740	53,935,030	95,710
寄附金	17,239,772	19,055,413	△ 1,815,641
補助金	521,924,803	549,611,953	△ 27,687,150
資産運用収入	20,100,000	20,293,748	△ 193,748
事業収入	10,750,000	11,548,627	△ 798,627
雑収入	13,071,110	15,629,504	△ 2,558,394
帰属収入合計	2,190,707,595	2,217,504,355	△ 26,796,760
基本金組入額合計	△ 164,870,000	△ 110,996,989	△ 53,873,011
消費収入の部合計	2,025,837,595	2,106,507,366	△ 80,669,771
消費支出の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
人件費	1,208,497,523	1,207,027,939	1,469,584
教育研究経費	570,034,863	539,836,478	30,198,385
管理経費	171,401,193	147,930,415	23,470,778
借入金等利息	5,674,582	5,674,582	0
資産処分差額	12,962,198	12,962,198	0
徴収不能額 〔予備費〕	7,104,000 62,247	7,104,000	0 62,247
消費支出の部合計	1,975,736,606	1,920,535,612	55,200,994
当年度消費収入超過額	50,100,989	185,971,754	
前年度繰越消費収入超過額	77,462,485	77,462,485	
基本金取崩額	0	377,442	
翌年度繰越消費収入超過額	127,563,474	263,811,681	

③ 貸借対照表

平成22年度末の資産総額は93億4,867万円で、前年度に比べ2億5,809万円増加しました。また、負債総額は7億5,906万円で、前年度に比べ3,888万円減少しました。

資産の部は、固定資産が71億8,541万円で、前年度に比べ7,217万円増であり、流動資産が21億6,325万円で、前年度に比べ1億8,592万円増加しました。

負債の部は、固定負債が3億9,272万円で、前年度に比べ3,878万円の減少と流動負債が3億6,634万円で、前年度に比べ1,011万円の減少です。基本金の部は、合計で83億2,579万円となり、1億1,062万円の増加でした。

この結果、繰越消費収支差額は2億6,381万円の収入超過となりました。

貸借対照表

(単位:円)

資産の部		本年度末	前年度末	増 減
科 目				
固定資産		7,185,414,322	7,113,246,476	72,167,846
有形固定資産		5,949,738,597	5,983,197,457	△ 33,458,860
土地		2,470,350,469	2,470,350,469	0
建物		2,777,990,306	2,850,195,931	△ 72,205,625
建物附属設備		116,226,582	92,504,028	23,722,554
構築物		120,537,115	129,364,762	△ 8,827,647
教育研究用機器備品		110,765,708	103,561,712	7,203,996
その他の機器備品		8,792,169	9,829,953	△ 1,037,784
図書		329,209,976	325,568,196	3,641,780
車輛		1,214,942	1,822,406	△ 607,464
建設仮勘定		14,651,330	0	14,651,330
その他の固定資産		1,235,675,725	1,130,049,019	105,626,706
有価証券		1,007,487,000	907,487,000	100,000,000
退職金引当預金		147,000,000	147,000,000	0
第3号基本金引当資金		47,936,631	46,936,631	1,000,000
特定支出引当特定預金		16,730,000	12,050,000	4,680,000
その他		16,522,094	16,575,388	△ 53,294
流動資産		2,163,254,866	1,977,332,171	185,922,695
現金・預金		2,112,849,419	1,894,354,868	218,494,551
その他		50,405,447	82,977,303	△ 32,571,856
資産の部 合計		9,348,669,188	9,090,578,647	258,090,541
負債の部		本年度末	前年度末	増 減
科 目				
固定負債		392,722,160	431,499,298	△ 38,777,138
長期借入金		277,700,000	314,825,318	△ 37,125,318
退職給与引当金		111,657,015	111,813,215	△ 156,200
長期未払金		3,365,145	4,860,765	△ 1,495,620
流動負債		366,342,470	366,443,534	△ 101,064
短期借入金		37,125,318	42,345,339	△ 5,220,021
前受金		275,178,500	273,935,500	1,243,000
その他		54,038,652	50,162,695	3,875,957
負債の部 合計		759,064,630	797,942,832	△ 38,878,202
基本金の部		本年度末	前年度末	増 減
科 目				
第1号基本金		8,135,856,246	8,026,236,699	109,619,547
第3号基本金		47,936,631	46,936,631	1,000,000
第4号基本金		142,000,000	142,000,000	0
基本金の部 合計		8,325,792,877	8,215,173,330	110,619,547
消費収支差額の部		本年度末	前年度末	増 減
科 目				
翌年度繰越消費収入超過額		263,811,681	77,462,485	186,349,196
消費収支差額の部 合計		263,811,681	77,462,485	186,349,196
負債の部、基本金の部、及び消費収支差額の部合計		本年度末	前年度末	増 減
科 目				
負債の部、基本金の部、及び消費収支差額の部合計		9,348,669,188	9,090,578,647	258,090,541

編集後記

昨年の世相を表す漢字は「絆」でした。ふり返れば、三月十一日の東日本を襲った大震災と津波、そして福島第一原発事故という三重の災害が発生し、日本はまさに未曾有の被災を経験しました。多くの人命が失われ、死者、行方不明者は合わせて約一万九千三百人となりました。家や家族や仕事やその他様々なものが失われました。その結果、私たちは改めて家族の「絆」の大切さに気づかされました。その後十一ヶ月が経とうとしています。被災地では、復興に向けた取り組みが行われていますが、まだまだその途上です。私たちも、今後の東北の被災地の復興を見守ってゆく必要があります。また、昨年は本校では先生方の相次ぐ病気による入院がありました。様々な禍があった年といえます。

そんな経験を通して、分かったことは、今まで当たり前のように過ごしてきた日常は、実は全く当たり前ではなく、日々の人々の弛まぬ営みの結果辛うじて成り立っているものであるということでした。特に、計画停電では、電気のありがたさを身に染みて感じたものです。日常を普通の如く送れていることに感謝しながら、また被災地で大変困難な生活を強いられる多くの人々のことを念頭におきながら、日々を大切に過ごしてゆきたいものです。

今年は辰年です。龍の天高く舞い上がってゆく様を思い描き、今年こそ大きく「飛躍」の年となることを願い、合わせて原稿を寄せていただいたご父母の皆様にお礼を申しあげて、編集後記にかえさせていただきます。

(高橋洋)

2 学期以降県外大会出場(予定)部活動・結果報告



クラブ名	大会名	期日	成績
アーチェリー部	平成23年度関東高等学校アーチェリー選抜大会(埼玉)	11/19・20	女子個人 3位 F3-5 鈴木千鶴、8位 K2-1 小川千絵、23位 F2-5 三浦美音、25位 F2-9 朝倉香那、30位 F3-6 邨松里美、35位 F2-8 原嘉緒里、41位 F3-5 木村美友 男子個人 2位 F2-3 榊原優、9位 F3-3 北智天、34位 F2-4 北村将寛、42位 F2-2 松下駿公、53位 F2-3 吉田達哉、65位 F2-3 一場広夢
	平成23年度全国高等学校アーチェリー選抜大会(静岡)	3/26~28	女子個人 K2-1 小川千絵 男子個人 F2-3 榊原優、F2-4 北村将寛
空手道部	平成23年度全国高等学校空手道選手権大会(青森)	7/30~8/2	女子個人 形 3位 J3-1 川崎衣美子 女子個人組手 5位 F3-7 白根実香 女子団体組手 BEST16 F3-7 白根実香、F3-8 尾上歡恵、J2-1 大谷津麻里、竹田楓、F2-3 今井深暉、F2-4 比企麻里奈、F2-9 大野菜摘 男子個人組手 BEST32 J3-1 中野貴仁 男子団体組手 1回戦敗退 J3-1 中野貴仁、F3-3 小池達、F3-4 戸塚誠二、F2-3 井上将貴、宮本亮、F2-4 稲見研人、F2-7 高瀬駿斗
	国民体育大会(山口)	10/8~10	女子個人組手 5位 F3-7 白根実香
	全日本選手権大会	12/10・11	女子個人組手 2回戦敗退 F3-7 白根実香 女子団体組手 3回戦敗退 F3-7 白根実香 男子団体組手 1回戦敗退 F2-3 宮本亮
フェンシング部	平成23年度国民体育大会(山口)	10/6~10	少年女子 2回戦敗退 F3-6 小林未来、F3-5 山本万里奈、F3-7 秋本佳央理 少年男子 1回戦敗退 F3-3 久保田菜沙樹、J3-1 神尾有飛、佐藤佑紀
	全日本選手権大会(東京)	9/10~11	男子個人フルール 55位 F3-3 久保田菜沙樹
	JOC ジュニアオリンピックカップ(東京)	1/7~10	ジュニア女子フルール 23位 F3-6 小林未来、102位 F2-4 設楽ゆりあ ジュニア女子エペ 27位 F3-6 小林未来 ジュニア女子サーブル 46位 F2-4 設楽ゆりあ カデ女子フルール 51位 F1-9 小林亜美、62位 F1-9 高橋伊吹 ジュニア男子フルール 21位 F3-3 久保田菜沙樹、160位 F2-5 山口純 ジュニア男子サーブル 69位 J3-1 神尾有飛、71位 F2-7 田中雄大 ジュニア男子エペ 78位 F2-5 山口純
バレーボール部	全国私立高等学校バレーボール選手権大会	8/13~16	ベスト16 F3-5 宇留間紫、F3-6 小林未来、F3-7 稲川真生、F3-8 石田亜利紗、F3-9 田村葉月、高井舞、K3-2 笠原彰子、F2-3 大野瑞季、江原あすか、大村菜摘、F2-4 田辺真樹、F2-5 芝亜弓、市川愛理、F2-8 小暮千瑞、F2-6 福島千尋、F2-9 片山夏綾、星田宮矢子、K2-1 雲田枝里、F1-6 小林ちこ、佐藤愛、竹内望美、F1-7 金井美憂、F1-8 浦澤いくみ、柴崎幸映、関詩織、F1-8 高橋桃子、S1-2 萩原里紗
ペッパーツ部	第46回マーチングバンドパトントフリング関東大会(埼玉)	10/30	カラーガード部門 金賞 J3-1 黛双葉、F3-6 根岸祥子、F3-5 大山桃可、F3-5 佐藤那菜、F3-6 浦野彩佳、F3-9 茂木麻里香、J3-1 佐藤菜優、J3-1 末永裕稀、F2-4 富岡涼、F2-4 新井瑞穂、F2-5 染谷亜希、F2-7 秋山沙紀、F2-7 新井理恵、F2-8 設楽このみ、F2-8 黒澤輝、F2-8 磯貝晴夏、F2-9 山口璃緒、J2-1 新井瞳、J2-1 大川舞子、J2-1 水上愛、K2-2 笠原直緒、F1-4 田中麻輝、F1-5 横田綾音、F1-7 吉田莉紗、S1-1 佐藤彩美、S1-1 松沢玲奈、S1-2 加部満帆、S1-2 木暮梨奈、S1-2 吉井可奈
パトントフリング部	第46回マーチングバンド・パトントフリング関東大会(埼玉)	10/29	パトントフリング部門 銀賞 F3-7 谷地莉央、K3-2 片山奈穂子、F3-6 西沢奈穂、F3-5 竹内小雪、F3-6 高橋由衣、F3-7 赤尾有理、K3-1 塩島怜、F2-5 木村有沙、F2-6 倉澤幸称、F2-6 富沢南美、F2-8 坂内えりこ、F2-9 秋山結衣、F2-9 佐藤美咲、J2-1 茂木香恵、K2-1 小坂橋力おり、K2-2 嶋澤菜摘、F1-5 大橋友梨、F1-6 宮下春香、F1-9 小峯菜穂、S1-1 佐藤美咲、S1-1 佐藤桃花、S1-3 安藤光穂、S1-3 神原由多嘉、S1-3 茂見詩織、S1-3 染谷夏未、S1-3 野中梨早、S1-3 星田彩乃、S1-3 森田成美、S1-3 山本優香
放送部	第58回NHK杯高校放送コンクール全国大会(東京)	7/26~28	テレビドキュメンタリー部門 F3-4 黒沢大地、F3-3 清水翔太、櫻井将貴、F3-7 勝沼風香、F3-8 林里奈、F3-9 野口葵 ラジオドキュメンタリー部門 F2-4 高橋美咲、J2-1 宮代夏美、K2-1 櫻井香織
	第35回全国総合文化祭放送部門福島大会全国大会(テープ審査)	8/3~7	ビデオメッセージ部門 F3-4 黒沢大地、F3-3 清水翔太、櫻井将貴、F3-7 勝沼風香、F3-8 林里奈、F3-9 野口葵
囲碁部	第27回関東地区高等学校囲碁選手権大会(栃木)	1/21~22	団体戦、個人戦 出場 J2-1 丸岡麻衣、F1-1 五十嵐のぞみ、F1-1 長坂和泉